

# チリM8.8 死者122人

## 日本に津波の可能性

【リオデジャネイロ＝浜砂雅一】米地質調査所(USGS)によると、南米チリで27日午前3時34分(日本時間27日午後3時34分)、マグニチュード(M)8.8の強い地震があった。震源は首都サンティアゴの南西約325キロの太平洋沿岸地区で、震源の深さは約35キロ。ピネラ次期大統領は、少なくとも12人が死亡したと発表した。広範な地域で最大2.3メートルの津波が観測されており、日本にも28日午後1時に到達する恐れがある。(関連記事39面)

### 午後1時以降到達か



チリ中部のタルカワアノでは2.3メートルの津波を観測。沖合約600キロ先のファン・フェルナンデス諸島では、津波による深刻な被害が出ているとの情報もある。震源に近い同国第2の都市コンセプションではビルや橋が倒壊し、多数の車がひっくり返った。サンティアゴでも、教会や複数の建物が倒壊。サンティアゴ国際空港はターミナルの天井の一部が崩れ、閉鎖された。

チリでは1960年5月にも観測史上最大のM9.5の大地震が発生し、高さ11メートル以上の津波で約1655人が死亡。発生から22時間後には、日本の太平洋岸に到達し、142人の死者・行方不明者を出した。



27日、チリの首都サンティアゴ近郊で走行中に高架道路が崩壊し、ひっくり返った車(ロイター)



気象庁の関田康雄地震津波監視課長は27日午後7時から記者会見し、「日本列島で津波が観測される可能性は考えられる」としたうえで、到達する場合も大津波とはならず、高さは1メートル程度で、陸地で大きな被害が出る可能性は少ないのではないかと考えを示した。ただ、遠隔地で起きた地震の影響による津波の予測は

難しく、今後の情報に注意するよう呼びかけている。同行によると、日本に津波が到達する時刻は父島など小笠原諸島が28日午後1時過ぎ、北海道太平洋側が午後1時半頃、関東地方が同2時頃になる見込み。同行では今後、米・ハワイでの観測データなどを基に日本各地への注意報、警報などを検討する。

太平洋全域に警報  
ハワイの太平洋津波警報

センターは27日、日本を含む太平洋のほぼ全域に津波警報を発令した。ハワイへの第1波到達は、同日午前11時19分(日本時間28日午前6時19分)ごろで、ロイター通信によると、同センター関係者は「ハワイの津波は高さ16メートル(約4.8メートル)に達する恐れがある」と予測している。

### 「阪神」の300倍エネルギー

今回のチリ地震(M8.8)は、最近10年間でみると、2004年12月に発生したインドネシア・スマトラ島沖地震(M9)に次ぐ大きな地震だ。気象庁が算出したマグニチュードは8.6で、阪神大震災と比べて、地震の出すエネルギーは300倍以上に相当する。

一般にM8以上の地震は巨大地震と呼ばれるが、巨大地震はプレート境界で発生することが多い。世界で毎年平均1.5〜2回発生している。

犠牲者がでたスマトラ地震では全長約1000キロ、巨にも達している。一般に、地震規模が大きければ、津波規模も大きくなり、津波が諸外国に及ぶ

| 場所             | マグニチュード | 死者・不明者  |
|----------------|---------|---------|
| 2001年 6月 ペルー   | 8.4     | 139人    |
| 03年 9月 十勝沖     | 8.3     | 2人      |
| 04年 12月 スマトラ島沖 | 9       | 28万人以上  |
| 05年 3月 スマトラ島沖  | 8.6     | 1300人以上 |
| 07年 4月 ソロモン諸島  | 8.1     | 52人     |
| 8月 ペルー         | 8       | 500人以上  |
| 9月 スマトラ島沖      | 8.5     | 25人     |
| 09年 9月 サモア     | 8.1     | 100人以上  |

(過去10年間、理科年表などによる)

世界で起きた主な巨大地震

ことは珍しくない。07年8月には南米ペルー沿岸でM8の地震が起き、北海道根室市には最大22メートルの津波が到達した。09年1月、インドネシア・ニューギニア島付近で発生したM7.6の地震による津波が、和歌山県では最大43メートルで観測された。